

緊急消防援助隊情報

緊急消防援助隊支援資機材の配備について

広域応援室

1. はじめに

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における全国の消防機関相互による迅速な援助体制として、平成7年6月に創設されました。消防庁では、平成15年の消防組織法改正により緊急消防援助隊を法制化したほか、部隊の編成及び出動計画等を定めた基本計画に基づき、車両及び資機材の充実強化を進めているところです。今回は平成23年度第一次補正予算を活用し配備予定の緊急消防援助隊支援資機材について、その概要をご紹介します。

2. 緊急消防援助隊支援資機材について

この支援資機材は、大規模災害時において派遣された緊急消防援助隊の後方支援体制を強化することを目的として、エアータントを中心とした宿営用の各種資機材により構成しております。

今回の東日本大震災における活動から抽出されました意見等を踏まえ、発動発電機及び同梱されたバッテリーユニットにおいても一定時間運転可能な冷暖房装置を備えるとともに、寒冷地対応のシュラフ、エアーマット及び簡易ベッド、簡易トイレ及び資機材搬送用の折り畳み式リヤカーから構成され、エアータント内には保温対策

と結露防止用の内幕を標準装備とするなど、寒冷地等における活動が可能な性能を有した資機材により構成されております。平常時はワゴン式コンテナに一括して資機材を積載し保管しておき、大規模災害等の発生により緊急消防援助隊として出動する際には当該コンテナをそのまま積載し、より迅速に被災地の活動拠点に搬送することで効率的・効果的な消防応援活動につながるものと考えております。

緊急消防援助隊支援資機材は、全国に500セットを配備することとしており、平成24年度半ばまでの配備完了を目指し、現在、鋭意製作しているところです。

3. おわりに

緊急消防援助隊はその創設以来16年以上が経過し、幾多の出動事例においてその機能を発揮してきましたが、各種災害に的確に対応するため、更なる充実強化を目指していかなくてはなりません。

消防庁においては、今後とも各消防機関、都道府県及び市町村の協力の下、ハード・ソフトの両面において緊急消防援助隊の機能向上のため、総合的に取り組んでまいります。



エアータント正面



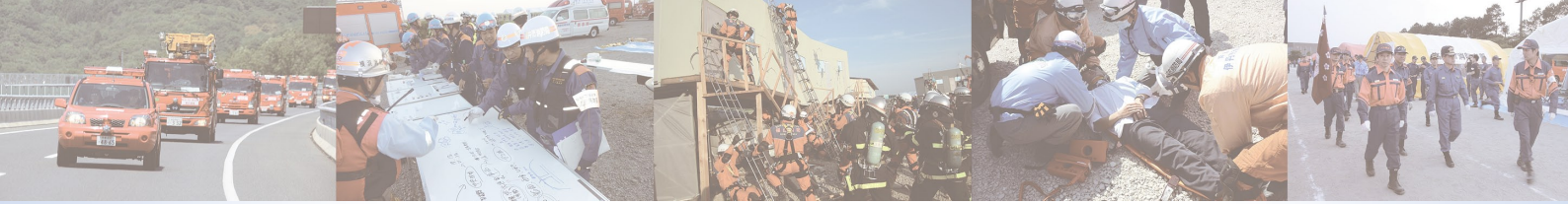
内幕の取付状況



エアータント連結状況



防虫ネット取付状況



バッテリーユニット 暖房機



冷房機



簡易トイレ



エアertent内部・室内灯



簡易ベッド・寝袋・エアーマット

緊急消防援助隊支援資機材

主な規格

【エアertent】

大きさ：4m×5m×2.5m
(内幕・防虫ネット付)

収容人員	8人
冷暖房装置	各1式
バッテリーユニット	1式
室内灯	4本

【その他付属品】

発電機 (2.8kw) 等	1式
簡易トイレ (簡易tent付)	1式
寝袋	8個
簡易ベッド	8個
エアーマット	8個
折り畳み式リヤカー	1台
資機材コンテナ (1.1m×0.8m×1.7m)	2台



資機材コンテナ



資機材コンテナ



折り畳み式リヤカー